

ソーシャルログインと2段階認証

JJ1SXA/池

ウェブサービスの登録・ログイン画面に「Google アカウントで登録」「Facebook アカウントで登録」などのボタンが用意されていることがある、これを使って SNS のアカウントで登録・ログインする方法を「ソーシャルログイン」という。

この仕組みは、ユーザーが「ソーシャルログインを選択」すると「ウェブサービス」は SNS に「データの提供を依頼」、SNS は、ユーザーに「データの提供の許諾確認」、ユーザーは「ログインして許可」、SNS は「ウェブサービス」にデータを提供、これで、ユーザーは「ウェブサービスの利用開始」ができる。

ソーシャルログインのメリットは、「新しい ID とパスワード」が不要、「ユーザー情報の入力」を省ける、「SNS の 2 段階認証」が利用できる。

但し、SNS の ID とパスワードが漏れた場合、ウェブサービスのデータも流出する恐れがある。

2 段階認証とは、サインインの際、サービスが発行した確認コード(数字 6 桁)を入力して本人確認をする仕組みで、本人が事前に登録したスマホなどにコードが届くので、端末を持っていない第 3 者の侵入を防げるということだ。

確認コードの受け取り方法は「SNS/メール」「電話」「スマホの認証アプリ」が代表的で、他にも、同じアカウントでログインしているスマホで直接認証する方法などもある。

大手サービス、GAF(A (Google・Amazon・Facebook・Apple) やマイクロソフト、ツイッター、NTTドコモ、au(KDDI)などは、二段階認証に対応している。
(大手でも「楽天市場」は、2 段階認証に対応していない)

多くのサービスは、2 段階認証に対応していても初期設定では機能がオフだ、まずは、各サービスで機能を有効にしておいた方が良いでしょう。

尚、2 段階認証を使い始めると、確認コード無しでは利用者がログインできなくなる、そのためスマホを紛失しても大丈夫なように、パスワード再設定用のメールアドレスも登録しておく、こちらはパソコンでも受け取れるプロバイダーのメールアドレスを指定するのが鉄則。

良く使う端末は、毎回、2 段階認証のコードを入力しなくて済むように、認証済みの機器としてグーグルに登録する、ログイン画面にある「…次回から表示しない」にチェックを入れると、コード不要の認証済みの端末になる。

2 段階認証を利用するサービスが多い人は、「グーグル認証システム」のようなスマホの認証アプリをつかうのもお勧めアプリでは、登録したサービスの認証コードが 30 秒程の間隔で送信される仕組みだ、表示されたコードを入力してログインできる。

アプリにサービスを登録するには、パソコンで該当サービスの 2 段階認証設定画面を開き、登録用の QR コードをアプリで読み込めば良い。